

授業科目名・形態	看護学概論	講義	必修・選択の別	必修
担当者氏名	小玉光子	開講期	1 年前期	単位数 2

【授業の主題】

看護学を学ぶための第一歩であり、今後の専門領域を学ぶための基礎となる科目である。看護とは何かという看護の概念を学問的に捉え、看護学分野の根底にある共通内容を学習する。

【到達目標】

1. 看護の概念や歴史、理論を学び、看護学に対する理解を深めることができる。
2. 専門職としての看護の役割と看護実践の基本となる看護の機能や看護倫理、保健医療福祉活動の現状や展望について理解できる。
3. 看護とは何かについて関心をもつことができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 看護とは何か
- 第2回 看護の過去から現在まで
- 第3回 ナイチンゲール「看護覚え書」①
- 第4回 ナイチンゲール「看護覚え書」②
- 第5回 主要な看護モデルと看護理論 ①演習
- 第6回 主要な看護モデルと看護理論 ②演習
- 第7回 主要な看護モデルと看護理論 ③発表
- 第8回 看護実践における重要な概念
- 第9回 看護の役割と機能
- 第10回 看護実践の方法
- 第11回 看護における倫理と法
- 第12回 看護実践を支えるもの
- 第13回 専門職としての看護
- 第14回 医療の安全
- 第15回 グローバル社会と看護

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うが、グループワーク形式の演習を取り入れる予定である。

【授業準備】

授業内容に関連した教科書の章を予め十分に目を通して授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

教養科目、総合科目、看護過程論、看護倫理、成人看護学概論等、看護学領域全体

【教科書等】

新体系看護学全書 基礎看護学①看護学概論 メヂカルフレンド社

フローレンス・ナイチンゲール（湯楨ます他訳）：看護覚え書―看護であること看護でないこと―改訳第7版 現代社

【参考文献】

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論 基礎看護学① 医学書院

看護学原論 看護追及へのアプローチ 医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】

試験成績（95%）、受講態度・グループ討議への参加態度・レポート課題等（5%）により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

この科目は看護学を学ぶ上での基盤となる科目です。難解で抽象的な専門用語もありますので、看護の初学者である皆さんがより理解を深められるよう臨床現場での具体例を取り入れて授業を行う予定です。しかし、皆さんも予習・復習に努め、自分なりの看護観を模索しながら主体的な姿勢で受講してください。